

# 2022前期長期・セメスター留学プログラム

期 間： 2022年3月～2023年3月（長期4名）、2022年3月～2022年9月（セメスター18名）

対 象： 国際コミュニケーション学部 21名、経済経営学部 1名

訪問地： UTAR大学（7名）、UCR大学（6名）、リージェンツ大学（6名）、オハイオ大学（3名）

目 的： 本科目は本学の海外の姉妹校・友好校（英語圏及び中国）へ、1～2セメスター留学するために開講するものである。事前学修として現地の社会や文化及び安全情報・危機管理について学修する。留学中は現地での諸活動についての週報と、毎月一回のテーマレポートを提出する。テーマレポートは現地文化や社会の問題点など学部が毎月定めるテーマについて調査・インタビューを行い、作成するものである。帰国後には学修成果について、レポート提出とプレゼンテーションを行う。

内 容： 目標

1. 事前学習を通じて、現地での活動を充実させる準備を行う。
2. 現地での諸活動を通じて、国際社会で活躍するために必要な意識と能力を身につける。
3. 事後学習を通じて、自分の現時点でのグローバル人材としての意識と能力を把握する。

成 果： 単位認定

1. 海外留学A, B, C, D：6単位
2. 語学科目（最大で当該期分）

# 2022後期長期・セメスター留学プログラム

期 間： 2022年9月～2023年7月（長期3名）、2023年9月～2024年3月（セメスター17名）

対 象： 国際コミュニケーション学部 20名

訪問地： ウーロンゴン大学（11名）、UCR大学（4名）、UTAR大学（3名）、ジョージタウン大学（1名）、  
北京語言大学（1名）

目 的： 本科目は本学の海外の姉妹校・友好校（英語圏及び中国）へ、1～2セメスター留学するために開講するものである。事前学修として現地の社会や文化及び安全情報・危機管理について学修する。留学中は現地での諸活動についての週報と、毎月一回のテーマレポートを提出する。テーマレポートは現地文化や社会の問題点など学部が毎月定めるテーマについて調査・インタビューを行い、作成するものである。帰国後には学修成果について、レポート提出とプレゼンテーションを行う。

内 容： 目標

1. 事前学習を通じて、現地での活動を充実させる準備を行う。
2. 現地での諸活動を通じて、国際社会で活躍するために必要な意識と能力を身につける。
3. 事後学習を通じて、自分の現時点でのグローバル人材としての意識と能力を把握する。

成 果： 単位認定

1. 海外留学A, B, C, D：6単位
2. 語学科目（最大で当該期分）

# 2022夏季・春季短期留学プログラム

期 間： 2022年8月18日～9月26日（夏季・ウーロンゴン大学班）（5名）  
2022年8月26日～10月2日（夏季・ウーロンゴン大学班）（2名）

対 象： 国際コミュニケーション学部 7名

研修先： オーストラリア（ウーロンゴン大学：7名）

目 的： 本科目は、短期海外研修を通して、本学姉妹校・友好校の学生との交流、企業やNGO、NPOへの訪問、文化体験などを通じてその国・地域の文化や社会に対する理解を深め、国際感覚を養うことを目的とする。参加者は事前学修として、現地の社会・文化についてアクティブ・ラーニング形式で学び、また現地学生との交流の際に日本や金沢を英語で紹介できるよう準備を行う。研修後は学修成果についてポスタープレゼンテーションで報告する。

内 容： 1. 事前学習を通じて、現地での活動を充実させる準備を行う。  
2. 現地での諸活動を通じて、国際社会で活躍するために必要な意識と能力を身につける。  
3. 事後学習を通じて、自分の現時点でのグローバル人材としての意識と能力を把握する。

成 果： 単位認定

1. 「海外語学研修」：2単位（国際コミュニケーション学部）